

ProMED-mail 情報 2016年 5月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介いたします。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。
編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
31日	ウエストナイル熱 米国	2016年5月27日ミシシッピ州保健省はラマー郡における今年度のウエストナイル熱の第1例を報告。今まで38例中1例が死亡。7月から9月に発生のピーク。症状は通常は軽度だが、まれに麻痺や昏睡、死に至ることもある脳炎や髄膜炎を起こす。
29日	結核 スペイン	2016年5月5日、教師が感染源となり小学1年生の児童48人に活動性結核のリスク。教師は無症候性であったが、喀痰の結核菌培養で陽性。教師の両親は陰性で、教師の子供が陽性。児童48人中20人がツベルクリン反応陽性で予防内服治療。残り28人は陰性で、2か月以内に再検が必要。
27日	梅毒 オーストラリア	クイーンズランド州では、先天性梅毒がここ30年で最悪の流行。3人のアボリジニの子供たちが死亡。167例のクイーンズランド州北部での初診。5月25日のブリスベントイムズ紙に、保健相は性感染症への取り組みに5年間で570万AUDを投入すると発表。
24日	ヒトエンテロウイルス 感染症 スペイン	カタロニア地域保健当局によれば60人の小児が重症化する恐れのあるエンテロウイルス感染症に罹患。そのうち29人が脳幹や小脳の炎症である脳炎で入院し、ほとんどは回復したものの2人は未だ重篤。ブルガリア、米国、アジアなどでも同様の流行が報告されているが、スペインでは初めて。このウイルスに対するワクチン治療薬はない。
21日	狂犬病 タイ	公衆衛生省はWHOの掲げる目標に向けて狂犬病対策を強化。死亡した80%はワクチン未接種な飼い犬の咬傷やひっかき傷が原因。サムットプラカーン県では野良犬を減らすため無料でワクチン接種や不妊手術を行い、3人の死者が出たことから狂犬病対策キャンペーンを実施。
18日	A型肝炎 台湾	2016年現在までに275例の新規患者が発生。近年で最多とCDCが発表。5月15日のデータではそのうち半数がHIV患者。症例のほとんどは国の北部に集中。CDCは本年末までに40歳未満へのA型肝炎ワクチン接種の拡大を計画。HIV,急性淋病、初期梅毒に罹患していれば第1回接種は無料。
16日	手足口病 ベトナム	全国61の市や郡で発生。昨年と同時期より23.2%減少。5月12日保健省の予防医学科は暑い時期の流行を両親に警告。5歳以下の子供に多く、ワクチンはないが、手洗いなどで衛生状態を良好に保つことが有効。
13日	水痘 米国	州保健当局は2016年に水痘の大流行を認め、多くはワクチン未接種者と発表。4月以降ミシガン州全体で239例、昨年と同時期より57%の増加。保健所は病気の蔓延を防ぐためワクチン接種を推奨。水痘ワクチンは非常に安全で効果的で、重症例を100%、軽度から中等度を89~98%予防する。
8日	アデノウイルス感染症 中国	2016年5月6日、保健当局が湾仔の幼稚園で流行した上気道感染症を調査。4月21日以降、3歳から5歳までの園児20人が、発熱、咳、咽頭痛、鼻水などの上気道炎症状を発症し、医療機関を受診した16人のうち、3人が入院。うち2人の気道検体でアデノウイルスが陽性となった。園児らの状態は安定。
7日	デング熱 オーストラリア	クイーンズランドで2例目の稀な森林型デング熱患者が発生。2015年4月に東南アジアからブリスベンに帰国した30歳代女性。2014年に報告された1例目同様にジャングル内で調査活動を行い、発熱、頭痛、食欲不振、筋肉痛を発症。
7日	黄熱 ブラジル	2016年5月4日サンパウロ州保健当局が2週間前から入院中であった38歳男性の死亡を確認。1940年代以降ブラジル国内で都市型黄熱例はなく、森林型黄熱例とみられる。
4日	ハンタウイルス感染症 チリ	ヌブレ県(ビオビオ州)で今年度4例目のハンタウイルス感染例の診断結果が待たれている。感染疑いのサンカルロス在住69歳男性は現在も呼吸不全のためICU入院中。
3日	クリミア・コンゴ出血(CCHF) オマーン	アジアからの移住者がCCHFで死亡。家畜からの感染とみられ農水産業当局等が地域住民への拡大防止策として、家畜農場を閉鎖して検疫。